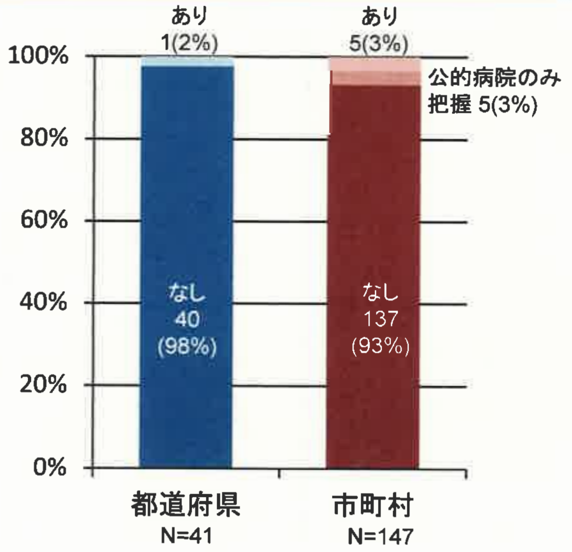
2

地方自治体における外国人患者受入れ体制

- 調査対象の都道府県・市区町村のうち、41都道府県(87%)と147市町村(82%)より回答を得た。
- 都道府県からの回答の特徴は、以下の通りであった。
  - 外国人患者の受入実績(外国人患者数)に関して、把握している都道府県は1都道府県(2%)。
  - 受入可能な医療機関の数や医療設備に関して、30都道府県(75%)は把握しておらず、10都道府県(25%)は拡充が必要と考えている。
  - 医療通訳者や相談に係る人員に関して、32都道府県(80%)は把握しておらず、8都道府県(20%)は拡充が必要と考えている。
- 市町村からの回答も、概ね、同様の傾向であった。

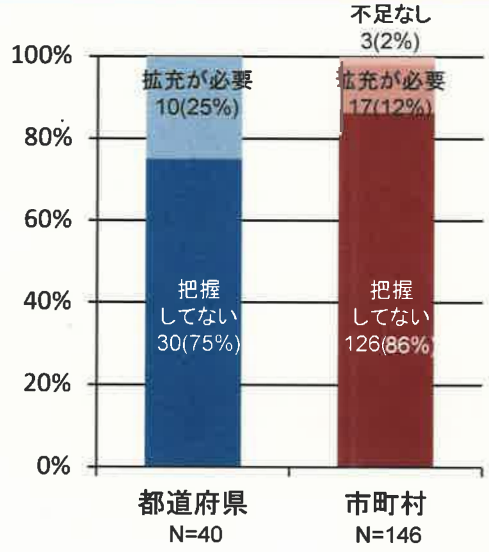
① 受入実績(外国人患者数)の把握

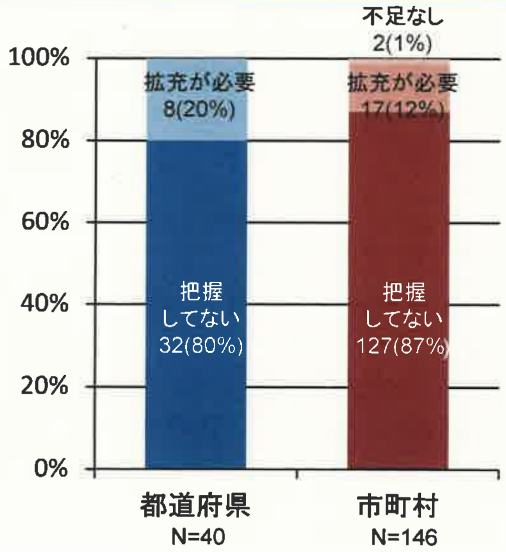
貴自治体の医療機関における受入実績(外国人患者数)を把握する体制がありますか。



② 医療機関の数や医療設備

貴自治体の外国人患者受入れ体制に関して、「受入可能な医療機関数や医療設備面」の達成度をどの様にお考えですか。



③ 医療通訳者や相談に係わる人員

貴自治体の外国人患者受入れ体制に関して、「人員面(医療通訳者・外国人住民への相談事業に係わる人員等)」の達成度をどの様にお考えですか